

はこジ郎の ぶらぶら ジオ日記



新しいカレンダーとなり新年がスタート！箱根の山も冬本番で、寒さ厳しい日々が続きます。

今月で湯河原町のジオサイト紹介は最後となります。「湯河原温泉」と「福浦カツラゴ海岸」ではどんな面白いことがあったのでしょうか。
照会先 企画課 ☎85-9560

あけましておめでとうございます！年末年始は年越しそば、おせち、お雑煮とおいしいものがた〜くさんでオイラ大好き！でも、食べてばっかりの寝正月はダメだぞ〜！寒さに負けずにしっかり外で遊ばないとね。

今回で湯河原エリアのジオサイト紹介は終わりだよ。今回散策したのは、「湯河原温泉」と「福浦カツラゴ海岸」だよ。千歳川沿いの温泉街のあたりを空から見てみると、三方をぐるりと山が囲っているんだ。これは侵食カルデラの地形で、温泉街はそのカルデラの内側に分布しているんだよ。約40〜23万年前の箱根火山の活動初期、湯河原には「湯河原火山」という山体があったと考えられていて、これがその後の侵食によって大きく削られてカルデラがつくられたんだって。そのカルデラの底の部分の谷間に川が流れ始め、川の周辺に温泉が湧出したんだ。万葉集にも詠まれたほど古くから知られていて、江戸時代の温泉番付では、東国の小結にランク付けされていたんだって。ちなみに、東国の最高位の大関には草津、次の関脇には那須、西国では有馬・城崎・道後の順だよ。湯河原の温泉街を歩くと、櫓がたくさん立っているのがわかるかな？温泉はエアリフトポンプで汲みあげていて、櫓はパイプにくっついた温泉成分を取り除く作業に使われるんだよ。一時は乱掘によって温泉枯渇の危機に直面したため、川沿いなどに架かるパイプの送配湯管などで、現在は町による集中管理が行われているんだって。温泉も「火山の恵み」の大事な資源だね！
オイラはこの時期に入る湯河原や箱根の温泉が好きだな〜！

「福浦カツラゴ海岸」では、関東ローム層とその上の真鶴溶岩を観察できる場所だよ。真鶴溶岩は真鶴の半島の大部分をつくっている溶岩で、約15万年前に噴出したものだよ。この2つの地層の境界では、溶岩の熱によって赤く酸化した火山灰層なども見ることができるとよ。カツラゴっていう珍しい地名については、地元のガイドさんによると、主に鯛などを獲る追込漁の一種である「かつら【葛、桂（かずら・かつら）】網漁」が語源ではないかと考えているんだって。この海岸には天然記念物であるサンゴイソギンチャクも生息している豊かな海なんだよ。

みんな、今年もオイラと一緒に箱根ジオパークのジオサイトを見て回ろうね！よろしく〜♪



茶色の地層が関東ローム層でその上の黒灰色の岩が真鶴溶岩

消防の仕事

第10回は「車両・資機材」についてです。

消防署には、いろいろな消防車が配備されていますが、これらの車両は地域の特性や使用方法など、さまざまなパターンを想定して設計の段階から要望して作っていますので、日本全国でも全く同じ消防車というのは、ほぼありません。

箱根は山間部のため、水利の確保が難しい場所もあり、また、狭い道が多いため、小型でかつ消火用の水が多く積載出来る車両が求められています。また、小型になることによつて、火災や救助で使用する資機材の収納場所などが限られてしまうので、たくさん資機材を積載でき、使用する時には取り出しやすいことなども考えられています。

消防車には、消火用のホースはもちろん、破壊器具や危険物火災で使用する消火薬剤、梯子などが積載されています。



これらの資機材は、定期的に動かしたり、訓練で使用したりして、いつでもどんな時でも正常に使えるように常に整備しています。

救急車には、怪我や病気をした方の応急処置のための器材などが積載されています。

これらの資機材は、定期的に動かしたり、訓練で使用したりして、いつでもどんな時でも正常に使えるように常に整備しています。

消防の仕事

No.10

「くらしの便利帳」を配付します



行政情報や各種手続きなど、いざという時に必要となる情報をまとめた「くらしの便利帳」を作成しました。1月上旬から順次各世帯の郵便受けに投函していきます。みなさんぜひ活用してください。

照会先 企画課（広報情報係） ☎85-9572

☎05-9560
✉kikakuka@town.hakone.kanagawa.jp

http://nh.kanagawa-museum.jp/ 後援 箱根ジオパーク推進協議会

箱根ジオパーク サポーター講座第5回 病なくとも年ごとに「箱根温泉の歴史」

喫茶店でドリンク片手に話して聞いてみませんか。箱根関所の大和田公一所長に箱根の温泉についての話を伺います。

日時 1月11日(水) 18時30分〜20時
締切 1月10日(火) (定員20名)
参加費 1,000円(ドリンク+軽食付)
場所 coco-Hakone (ココハコネ!) (箱根町湯本475-1)

県立生命の星・地球博物館では石材の地質学的な背景とともに、その石材で造られた石造物を歴史学・民族的な視点から紹介する「石展2」を開催しています。箱根ジオパークから産出する「黒曜石(烟宿)」や「小松石(真鶴)」、「根府川石(小田原)」をはじめ神奈川県内のさまざまな石を展示しています。みなさまのご来館をお待ちしています！

「石展2」かながわの大地が生み出した石材〜開催中!!

箱根町『園・小・中学校一貫教育(分離型)』

箱育(観光学習)編

平成19年度より、小学1年生から中学3年生まで箱根教育の一つとして、歴史が古く、自然に恵まれた地域の特性を生かした地域教育を取り入れてきました。

園・小・中学校一貫教育では、地域教育は今までどおり社会や理科などの教科に取り入れ、箱根の基幹産業である「観光」に特化した「観光学習」を総合学習の時間で展開しています。

この「観光学習」では、箱根の自然・文化・歴史とのふれあいや、観光客と児童・生徒との交流が図られるようにして、箱根町に訪れた人たちに感動と喜びを提供するための企画を学習しています。

小学校では、地域の観光パンフレットを作成して観光客への配布、箱根の未来や魅力を考えて町への提言を実施するなど箱根を知る学習、中学校では、1年生が「町内職場体験」、2年生が箱根と同様に観光業が盛んな「鎌倉訪問体験」、3年生が「観光客インタビュー体験」を実施して、観光体験学習を行っています。

今後の「観光学習」は、箱根の観光やジオパークの情報をデータ化してICT※1を活用した学習に取り組み、アクティブラーニング※2に結びつけていきます。

※1 ICTとは、Information and Communication Technologyの略で「情報通信技術」の意
※2 アクティブラーニングとは、課題解決に向けた主体的・対話的で深い学びの意



中学1年生の町内職場体験「箱根の良さを体験」



中学3年生の観光客インタビュー「箱根の良さをPR!」

町長の夢は

箱根の子どもたちが、中学校を卒業しても観光の面白さを感じて、将来、町内で働き、箱根の観光をリードする人材が出てくることです。



猫や犬を飼うときは最後まで責任を持って! どうしても飼えない場合は環境課(☎85-9565)に相談を。